

# 令和5年度 第12回 豊田市保見地域会議 会議録

開催日時	令和6年3月22日(金)	開会	閉会
		午後7時	午後8時45分
会場	保見交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：12人		
	会長：湯浅 進也      副会長：田中 治		
	委員：大城 一美      大羽 啓允      楓原 和子      加納 和茂 倉知 朋範      深見 浩司      藤田 パウロ      船倉 茂久 水嶋 淳      山本 昭治		
欠席者	6名( 篠田 賢悟      竹崎 佐恵美      福岡 博之      森岸 直幸 山田 貴啓      吉村 迅翔)		
傍聴者	1名(高橋支所：吉野担当長)		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、岩村(苑)主査		
	1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 新たな提言に向けた取組について 4. 令和5年度の保見地域会議活動報告について 5. わくわく事業現場訪問について 6. 情報共有・事務連絡 ・「(仮称)第9次豊田市総合計画中間報告会」の案内について ・お礼状の贈呈 ・委員からあいさつ ・支所長あいさつ		

## ■ 議事(要約)

### 3 新たな提言に向けた取組

本日のゴールと流れについて事務局から説明(資料1頁)

結論：提言書案の修正意見について事務局で修正し、できなかった部分は令和6年度に継続協議し提言書を完成させる。

### ■ 保見地区における課題解決に向けた豊田市への提言案(資料2～4頁)

(意見・質疑等)

#### 【1 背景・課題について】

- ・2頁中段の「介護等に多額の費用がかかることから」健康寿命を延ばす必要がある。という部分に違和感がある。  
⇒「介護等に負担がかかることから、健康寿命を延ばすことが必要と考える。」に変更する。
- ・健康寿命を延ばして介護期間を短くするということ。
- ・若いうちに介護が必要になると非常にお金がかかる。できるだけ施設に入る期間を短くする。
- ・3頁「国民健康保険加入者 特定健康診査結果(令和3年度)」のグラフで「身体活動なし」とはどのような状態か。  
⇒確認して、わかりやすい表現にする。

- ・健診の受診率が低いというのが保見地区の課題なのか。ほかの地域に比べてどうなのか。解決策として健康寿命を延ばすことにつながらない。今の健康寿命が短いならば、健康寿命を延ばすことは理解できる。  
⇒7月の会議資料のデータで豊田市全体の健康寿命は、男女ともに全国や愛知県に比べて長い。
- ・受診率が低いことを表現しているだけで、健康寿命のことは「また」以降の後段にかかっているのだから、そのままでも良いのでは。健康に対する意識が低いことを変えていきたい。結果を把握するデータがないことは問題である。
- ・指標を健康寿命にすると、結果はすいぶん先にしか分からない。住民の意識が変わったことを指標にした方が良いのでは。
- ・受診率を上げて病気の早期発見につなげることで、早期治療し健康寿命を延ばすことになるのではないかと。

## 【2 解決方針について】

- ・特に変更は必要なし

## 【3 取組内容について】

- ・「教育機関と連携し」と記載があるが、中学校の部活がなくなり、多様性と言われて自分のやりたいことをやれる部分ではいいが、帰宅部が増えている。学校でも家庭でも一貫した考え方が必要である。
- ・こども会に出るよりも家で遊んでくれた方が良いという考えや、塾に通わせるという親の意向で、保見団地の中ではこども会の活動がなくなってしまった。こどもの健康に対する親の意識を変えないとダメだと思う。  
⇒小中学校の部活動に関しては、市全体の課題として今後検討していく。今回のテーマの中で、地域会議では部活動は切り離して協議を進めていきたい。  
⇒篠原や貝津ではこども会が活動しているので、やれるところから実施し横展開していくことを考えている。

## 4 令和5年度の保見地域会議活動報告

- ・保見地域会議の1年間の活動について振り返りを兼ねて事務局から報告（資料5～7頁）

## 5 わくわく事業現場訪問

- ・「保見いきいきアカデミー」の活動について、訪問した委員から報告（資料9頁）

## 6 情報共有・事務連絡

- ・「(仮称)第9次豊田市総合計画中間報告会」のご案内について
- ・お礼状の贈呈
- ・委員からあいさつ
- ・支所長あいさつ

(次回の予定)

日時：令和6年4月24日（水） 午後7時から

場所：保見交流館1階 多目的ホール

内容：地域自治システム等の説明